

コミュニティ だより

徳島市
徳島市コミュニティ
連絡協議会
〒770-8571
徳島市幸町2丁目5番地
TEL(088)621-5510
FAX(088)621-5511

第20回 徳島市コミュニティまつり

西富田コミュニティ協議会

第二十回を迎えた平成二十二年徳島市コミュニティまつりは、昨年十月三十一日(日)に西富田コミュニティセンターで開催されました。



市長の祝辞をいただく

今回のコミュニティまつりは、第一ブロックが担当としての第一ブロック共同開催という事で、西富田・東富田・昭和・内町・新町の各協議会が企画運営にあたりました。初めての試みとあっていろいろ試行錯誤いたしました。が、参加者から好評を得ることができました。

メイン会場は西富田コミセンで、開会式で徳島市長原秀樹様のご祝辞をいただき、島田和男徳島市コミュニティ連絡協議会長、中筋輝西富田コミュニティ協議会長のあいさつで式典を終わりました。その後、西富田コミュニティ協議会担当の演芸発表会やいきいきサロン、フロアカーリング(会場は新町小学校体育館)を、こども交通公園では内町まちづくり協議会によるウォーキングを、西富田コミセンでの閉会式後の抽選会は、東富田・昭和コミュニティ協議会が、駐車場や駐輪場関係は新町コミュニティ協議会が担当し、第一ブロックの意気込みを感じていただきました。



第1ブロック活動記録展の一部



こども交通公園からウォーキングに

フロアカーリングでは、初めての方がほとんどで大変楽しまれ、各地区でも取り上げたいとたくさんさんの問い合わせをいただきました。

第一ブロック共同開催の意義を明らかにしようと、第一ブロック各協議会の活動を分かっていたいただきたく「第一ブロック活動記録展」を開催し、各協議会の活動をパネル展示いたしました。地味なコーナーでありましたが、ブロック共同開催の意義も十分理解していただけたと思っております。

空くじなしの抽選会では、一等の三十二型テレビをはじめ、パン焼き器、自転車などの豪華景品、またユーモアの



フロアカーリングっておもしろい!

あるトイレットパーパーなど楽しい抽選会となりました。

参加者は予定していた以上に多くの方が参加され、和気あいあいのコミュニティまつりとなりました。

西富田コミセンの集会室が狭く、「こんな狭い所で…」という声もあり、大勢の皆さんにご迷惑をおかけいたしました。が、ブロック開催という初めての催しとして評価していただけるのではないかと思っています。



加茂地区防災訓練について

加茂コミュニティ協議会

昨年八月八日に加茂地区防災訓練が夏空の下、千松小学校にて町内会や各種団体のご協力によって行われました。夏の暑い日にもかかわらず、消防関係や見学者等合わせて延べ五百人の方が参加してくれました。

自主防災会会長山田稔さんを中心に、運動場では救出搬送訓練で、瓦屋根の絵を描いたセット等を使って人を救出する訓練が行われました。また、資機材取扱訓練では、発電機や照明器具の扱い方を教わったり、段ボールで簡易トイレを作ったり、ロープの結び方等を練習したりしました。皆さん簡易トイ



簡易トイレ作成の様子

レに関心をもたれていました。

体育館では、応急処置訓練として、負傷者役で顔や体に特殊メイクをしていましたが、なかなかリアルなメイクでびっくりしました。負傷者の治療の優先度を判定するトリアージ訓練や心肺蘇生法、応急手当等の訓練が行われました。

会議室では、避難所運営訓練とあって、避難所で発生する様々な状況をカード

を使って模擬体験をするもので、少し頭を使った訓練だったみたいですが、皆さん悩みながらも楽しくしていました。調理室では、非常食の炊き出し訓練をしました。お湯を沸かしたりしていたので、部屋の中はより一層暑くなっていたと思います。皆さん嫌な顔もせず、非常食を作ってくれました。五目御飯で、



応急処置訓練

とてもおいしかったです。

平成二十二年度、加茂コミュニティ協議会会長に大栗敏治氏が就任いたしました。今回の防災訓練が、就任して初めての大きな行事となりました。今後、大栗会長と共に、皆さまのご協力、ご支援をいただきながら加茂地区のよりよい町づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくごお願い申し上げます。

勝占東部コミュニティ協議会の活動を

さらに発展させるために

勝占東部コミュニティ協議会

会長 田岡 修蔵

当協議会ではセンターの施設を使用される方々が、楽しく喜びの時間を過ごされることを願っています。町づくりの一つとして地域のコミュニケーションが図られ、再度使用していただけるよう、事務局長と共に業務に励んでおります。

しかし、勝占東部コミュニティセンターの自動車駐車スペースは十台分しかなく、現在の自動車万能時代に対応できません。当センターでのイベント事業、公民館・児童館の事業が重なってあるときには、その駐車が市道への駐車となるのが度々でした。

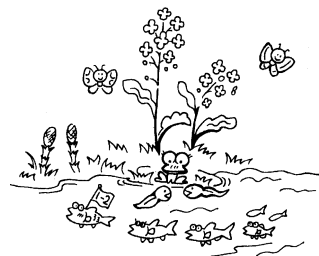


非常食炊き出し訓練



勝占東部コミセン第2駐車場

なければと考える
 他地区のセンターでも同じ
 悩みがあるので
 はないかと思っ
 ますが、地域の
 力を結集し、問
 題を解決してい
 きたいと考えて
 おります。
 コミュニティ
 協議会は町づく
 りの拠点であり、
 新しい年度を迎



えて有意義な活動状況がで
 きるよう努力していきます。

赤池川水ぎわ公園から広まる



不動コミュニティ協議会

地域の輪

そこで、昨年七月に二七〇
 平方メートルを地元の地主さ
 ん、行政書士さんの協力を得
 て、第二駐車場として確保す
 ることができました（十台余
 りの駐車可能）。その新設工事
 費は協議会としては大変な出
 費でしたが、やりくり算段し
 て実現しました。また、この
 駐車場の維持費もこれから必
 要であり、管理運営に努力し
 なければと思っております。

また、センターの屋内照明
 灯が天井高く取り付けられて
 おり、その蛍光灯取替に管代
 だけでなく手間賃が高額必要
 となります。屋内照明は駐車
 場維持と同様に努力してい

不動産園（保育所・幼稚園・
 小学校・中学校）で学ぶ子ど
 もたちや、町民の強い願いの
 もと、学園周辺の環境整備が
 進められ平成二十年五月に
 「赤池川水ぎわ公園」が美しく
 整備され完成しました。私た
 ちはこれを機会とし「ふるさ
 とに誇りを持ち、未来にはば
 たく力をもった子どももの育
 成」を目指し、人権尊重社会



赤池川水ぎわ公園

などの笹飾り、学園の子ども
 達の願いが込められた短冊。
 事前に町内八カ所に箱を設置
 し、町内外の方から応募して
 いただいた人権標語。色とり
 どりの短冊が飾り付けられた
 笹が約三十本、赤池川水ぎわ
 公園に所狭しと並べられまし
 た。応募された人権標語は、
 毎年十一月に開催されている
 「不動ふるとカーニバル」の
 開会式典において、優秀作品
 が披露されました。最優秀賞
 は「不動町 一つの輪になり
 七夕まつり」、優秀賞は「笑
 顔から つながる心 ひろがる
 和」等計五作品が入賞しま
 した。



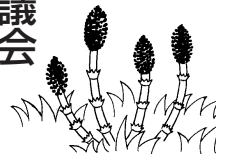
不動町では、今後も赤池川
 水ぎわ公園で夏にはたなばた
 祭りを、冬にはクリスマス
 イルミネーションなどをし、
 不動町のシンボルとして大切
 にしている美しい公園を、地
 区内の人が大勢集まっても
 らえる公園にしたいと思っ
 ています。



八万文化祭

八万コミュニティ推進協議会

会長 福田 紀雄



八万文化祭は、昨年十一月十三日、十四日と二日間開催しました。今回で二十六回目の開催となりました。人口二万七千人余りの町にふさわしく、町民皆さま方の文化の高さと、感性の良い作品がたくさん出展され、観る人々にやすらぎと潤いをもたらした二



日間で、石井徳島市教育長をはじめ、七百人余りの入館者を迎えて盛大に開催されました。主催八万コミュニティ推進協議会・八万中央コミュニティ推進協議会・八万公民館協賛八万中学校・八万小学校・八万南小学校・八万幼稚園・八万南幼稚園と八万各種団体

多くの協力を受けました。先輩の方々の伝統を受け、今回も例年に劣らず八万コミセン全館使用で開催できました。会場ロビーで、和紙人形のオブジェが入場者やさしくお迎えし、第一会場へ。館内では日本画、洋画写真、書道、手工芸、生花、ガラスアート、アートフ



ラワー、木彫、和紙人形、パッチワーク、押し花、和紙ちぎり絵、陶芸、盆栽、折紙等が展示され、また学校関係では八万中学校美術部、書道部、八万両小学校の書道、絵画、八万両幼稚園は共同作品の大作、八万両学童の絵馬、伝統文化子ども生花、八万地域子ども書道教室五教室の作品が体育館いっぱいに発表され心を癒されました。八万婦人会片山会長始め、皆さま方の抹

茶接待が二日間行われ、十四日には二階の研修室で大バザーも開かれ大変な賑わいで盛り上がりました。第二会場は、グループホーム等四施設の作品が発表され、好評を得ていました。八万町内会連合会松尾会長並びに役員の方々、八万青少年育成会鎌田会長や役員の方々、八万防犯委員会松並会長はじめ委員皆さまには、パネル組み立て並びに撤去にご協力いただき、本



当にお世話になりました。八万中学校美術部の皆さまには、ポスター作成してくださりお礼申し上げます。皆さまのご協力のおかげで二十六回目の文化祭も盛大に行うことができ、重ねてお礼を申し上げます。



渭東コミュニティ協議会 の活動紹介

渭東コミュニティ協議会

渭東コミュニティ協議会では、年間を通じて地域に密着した事業を開催しています。二十二年度事業の主なものとして、

【春】

・徳島LEDアートフェスティバル

二〇一〇年「幻聴音楽会」照明の音楽に参加。

「芸術」と「光」と「音楽」の融合に感動。

二十三年度にはコミセンのライトアップを計画中。



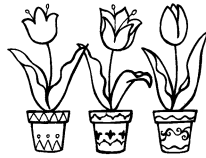
【夏】

・地域学遊塾

夏休みは子ども達を対象にたくさんの方を招き開催。

間伐材を使った「おはし作り」、「アニメ映画大会」、「カラーリング大会」、「うどん打ち」

「カラーリング」や「うどん打ち」は、三世代交流を兼ねて毎年実施。参加者より大変好評。



カラーリング大会

【秋】

・徳島市民総合防災訓練開催

十一月二十一日(日)福島小学校区を対象に実施。

近隣住民同士による助け合い、「共助」が重要だと再認識。

・鳥取県倉吉市より研修視察受け入れ

全国でも珍しい児童館、保育所、公民館、コミセン併設の良好な現状を紹介。



うどん打ち

【冬】

・渭東芸能文化祭、新年互礼会(初釜)

恒例になった文化祭は、地域一帯となってにぎやかに開催。

互礼会では、新たに迎える年の抱負とさらなる発展を願う。



新年互礼会(初釜)



また、年間を通じて文化財マップ「渭東をめぐる」歴史をひもときながらの作成がありました。地域の公共施設や文化財に史跡を一年かけて再調査し、写真や地図に説明文をつけ、気軽に散歩できるコースの紹介などもしています。残念なことに、地域の財産であった県立東工業高校が廃校となり、その後の利用がまだ決まっていません。今後の活用が期待されます。最後に、渭東コミュニティセンターは、本年度、開館十二周年を迎えます。これからも地域の情報発信源として、新しい出会いとふれあいを広め、そして、地域とともに成長していきたいと考えています。



四所神社

シリーズ
各所・旧跡

大滝山に抱かれて

新町コミュニティ協議会

浅川 智子

体育の苦手な私は毎日居残り、跳び箱の練習をしていた。甲斐あって最上段までクリアすることができた。翌日のテストが待ち遠しかった。毎日、空襲警報で眉山に避難することが続き、家族は疲れ気味であった。「今日はB29は来ないであろう」と油断していた。警戒警報から空襲警報までの間の速さ。東の空が赤くなり「テストはどうなるのだろう」窓に頬を寄せるひととき、次の瞬間には中庭に焼夷弾が落ち



現在の和田の焼餅 (小さな溝があったところ)

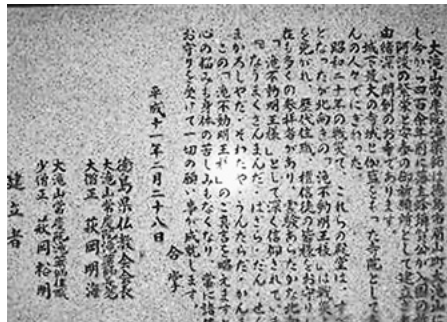
い」と思えない。意志が通じない。後から逃げてきた近所の石屋さんが、強引に解いてくれたのだ。山へ逃げるつもりでいたが、火の海となり、焼餅屋の裏の小さな

た。祖母と二人で水をかけたが、もう私たちの手に負えない。大きなリュックサックを背負い、祖父の合図で燃え盛る寺をあとに。薬師堂までは、祖母と妹は確かに前を走っていた。大きな音とともに真正面に焼夷弾が炸裂した。体は宙に、我に返ると大きな柱にしがみついていた。それは滝の焼餅屋の庭先にある花見台の柱であった。

溝に石屋さんと飛び込んだ。両脇の家が燃え始め、「嬢ちゃんもうだめだ、おじさんと一緒に死のう」と石屋さんは言う。女学校二年生、したい事が山ほどあるのに残念で涙があふれた。この家が落ちれば死ぬのだ。痛いだろうか。空を仰ぐと夏間に無数の火の粉が舞っている。「死にたくない」と叫んだ。石屋さんはびつくりして逃げることに。靴を脱ぎ捨て登り始めた。裸足で大きな岩に這い上ると滝壺に出た。すでに十四、五人が肩を寄せ合い水につかっていた。炎風が吹きつけ顔が熱く、草も燃えだした。「もうここもだめか」と目を閉じる。急に風の向きが変わり、助かった。



大滝山の滝壺



大滝山薬師堂の由来を書いた石碑



B29の音も消え山から人々が下りてくる。大滝山のお不動様の水のおかげで助かり、一生忘れることのできない思い出。今もなお、「名水錦竜水」を汲みにくる人々。名水を使った滝の焼餅はデザートスポットを楽しませ、

花時や鳥も奏でむ水の音
つつがなく大河は流れ大旦
赤さばなほ一寺一寺の淑気かな
甘茶仏戦火の灰をかぶり来し

編集後記

郷土の生んだ世界的作曲家三木稔先生のオペラ「きみを呼ぶ声」が文化センターで上演されました。多くの市民が出演し、芸術の粋を集めたオペラに大拍手が起りました。文化活動の基盤の一つは、各地域で開かれる文化祭です。八万の人口二万七千の気力の集中した大文化祭です。文化性の高さと感性豊かな作品集は意義深いものです。渭東文化祭も地域が一体となって開かれており、頼もしいことです。

不動の水ぎわ公園づくりと「ふるさと不動 たなばた祭り」も豊かな心を育てる文化活動でしょう。全市内で展開される文化活動を思うと、徳島市の文化性の高さと規模の大きさは驚くべきものではないでしょうか。

同じく加茂地区の大規模防災活動も、毎号紹介される各地と合わせ考えると地域活動の力強さを感じさせられます。「大滝山に抱かれて」は市民の心に響き、第二次大戦の悲惨な体験を永遠に語り継いでくれるでしょう。旧跡の裏面の秘話を抱いて。

(佐藤義忠 記)